

1. はじめに

私は、4か月間、アメリカ・ミズーリ州のノースウェストミズーリ州立大学 (Northwest Missouri State University) へ留学しました。この留学の目的は、英語能力の向上とともにアメリカ合衆国の文化を学ぶ事でした。この留学体験レポートでは、日本とアメリカの大学生の違いについて気づいたことを記します。

2. 日本とアメリカの大学生の違い

4か月アメリカという国に暮らし、大学生として勉強した中で、日本とアメリカの大学生について様々な違いを感じました。まず、私が着目した点は「LGBT に対する考え方が浸透している」という事です。具体的に例を挙げるとすると、ある学生間のアンケートの性別記入欄に“Male”, “Female” の他に“Other” が選択できることです。日本のアンケートや書類では、「その他」という選択肢は見たことなかったのでも驚きました。また、学生が主体で行う、性的マイノリティに対する差別に反対するキャンペーンも校内で行われていました。学生がポスターを作り、キャンパス内のホールでスピーチを行っていました。勿論日本でも、学生主体の運動は盛んに行われていますが、自分の大学では滅多に行われないために、自分とは程遠いものだと思っていました。しかし、自分と年齢が同じ学生が積極的に行動を起こしている事を実際に目の当たりにして、とても驚きました。

次に、「学生の政治に対する考え」について違いを感じました。2016年11月8日、アメリカでは大統領選挙が行われました。この選挙を通して、アメリカの学生たちがいかに政治に対して積極的に参加しているか分かりました。この選挙がアメリカ国民にとって、とても大事なものになるという自覚があったからかもしれませんが、日本の学生と比べると本当に真剣に考えているのだと思いました。校内では選挙に関するポスターが貼ってあったり、秋頃に行われるホームカミングデーでのパレードでは、トランプ大統領のフロートやコスプレをしている人がいたりしました。また、アメリカ人の学生に選挙について尋ねてみると、ちゃんと自分の意見が返ってくることに驚きました。このような体験を通して、日本の学生は、政治に対して他人事のように考えることをやめ、真剣に考えるようにするべきだと思いました。

3. おわりに

この留学を自分の経験としてこれからの将来に活かし、英語の勉強も続けていきたいとします。また、留学を通して学んだ異文化については、今後も日本で行われる様々な活動に積極的に参加し、理解を深めていきたいです。今回の留学において、ノースウェストミズーリ州立大学にて懇切丁寧な指導をしてくださった先生方、ホストファミリーの方々、ありがとうございました。このような素晴らしい体験をさせていただいたことを、心から感謝いたします。